

令和8年度

授業シラバス・  
年間指導計画

芸術  
(3年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
芸術	音楽Ⅱ	2	MOUSA 2 (教育芸術社)

学習のねらい	<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱・器楽・創作について・・・様々な活動を通して技能を高め、表現することの喜びや楽しさを深く味わいましょう。</li> <li>・鑑賞について・・・感性を働かせてその音楽のよさや美しさを深く味わい、音楽文化に対する理解をさらに深めましょう。</li> </ul>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で個性豊かに表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力 理解力	思考力 判断力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な 評価方法	授業中の取り組み状況 実技テスト 等	授業中の取り組み状況 ワークシートの記述内容 等	授業中の取り組み状況 振り返りシート 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	ヴォイストレーニング コールユーブンゲン コンコーネ	・歌う時の姿勢や発声法を理解し、正しい音程で歌うことができる。	・個性豊かに表現を工夫して歌うことができる。	・声の響きと体の使い方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	ソルフェージュ・楽典	・音楽の基礎的な理論について理解し、リズムや音程を正確に表現することができる。	・楽譜から読み取ったことを工夫して表現することができる。	・音楽の基礎力を伸ばすことに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	器楽演奏	・正しい奏法や身体の使い方を身に付け、正確に演奏する技能を身に付けている。	・音高の変化や楽曲の旋律の美しさを感じ取り、表現を工夫できる。	・楽器の音色や奏法に関心を持ち、向上心をもって意欲的に練習している。
	創作	・旋律に音を加えたり、リズムや拍子を変化させたりすることができる。	・旋律をどのように変化させたいかイメージをもって工夫することができる。	・旋律を変化させることに関心を持ち、意欲的に創作活動に取り組んでいる。
	鑑賞	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解を深めている。	・音楽を評価しながら良さや美しさを感じ取って聴くことができる。	・音楽を形づくっている要素やそれらの働きに関心を持ち、演奏表現の特徴を味わって聴いている。
後期	日本歌曲	・日本語の発音やその強弱によるリズムと旋律の関りについて理解している。	・歌詞の内容と曲想に合った表現を工夫して歌うことができる。	・旋律と言葉との関係に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	器楽演奏	・楽器の特徴を生かして曲にふさわしい音色で演奏することができる。	・音高の変化や楽曲の旋律の美しさを感じ取り、表現を工夫できる。	・楽器の音色や奏法に関心を持ち、向上心をもって意欲的に練習している。
	鑑賞	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解を深めている。	・音楽を評価しながら良さや美しさを感じ取って聴くことができる。	・音楽を形づくっている要素やそれらの働きに関心を持ち、演奏表現の特徴を味わって聴いている。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 美術選択者 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
芸術	美術Ⅲ	2	高校生の美術Ⅲ (日本文教出版)

学習のねらい	<p>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p> <p>(1) 美術Ⅱで学んだ絵画表現の基本をもとに、各大学の入試に合わせたモチーフと描画材を選択して制作作品制作を行い、粘り強く制作する態度を身につける。</p> <p>(2) 志望する大学の過去問を中心にデッサンを行い、卓上静物や石膏を鉛筆で描写し、形態の正確な把握力、素材・質感の表現力、空間に対する意識を養う。</p> <p>(3) 色彩構成や着彩、立体など、志望校の過去問に取り組み、実技試験の対策を行う。</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術系大学への進学を希望し、入試に実技が必要な人が選択してください。</li> <li>・制作に必要な用具は各自で用意してください。</li> <li>・美術Ⅲでは、常に目的意識を持って授業にのぞむことが大切です。総合型・推薦型入試に必要とされる持参作品の制作やデッサンは授業だけでは取り組む時間が足りません、放課後など、各自で時間を見つけて描くことが必要になります。</li> </ul>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>・創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、自分の表現意図に合った方法を選択し、素材の特性を理解して制作に取り組むことができる。</p>	<p>・色や形、構図など、造形的な要素に注目して作品を制作、鑑賞することができる。</p> <p>・作品から自分が感じた印象を言語化できる。</p>	<p>・美術表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動、鑑賞活動に取り組んでいる。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力 理解力</p>	<p>思考力 判断力 表現力</p>	<p>自律力 省察力 協働力</p>

主な 評価方法	授業中の取り組み状況 制作作品 等	授業中の取り組み状況 ワークシートの記述内容 等	授業中の取り組み状況 振り返りシート 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	○鉛筆デッサン	対象の形を正確に捉えることができる。 鉛筆による明暗やタッチの表現を身に付ける。	構図を工夫することができる。 対象の色・質感を表現できる。	絵画表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動に取り組んでいる。
	○作品鑑賞	他者の作品を鑑賞することで、多様な表現方法があることを知り、美術に対する理解を深める。	作品を見た時に自分が何を感じ取ったのか言語化できる。 好き・嫌いからスタートし、その理由を造形的な視点から説明できる。	古今東西の絵画作品に関心を持ち、制作方法や作品の来歴、作者の生涯など作品の背景にも注目しようとしている。
後期	○持ち込み作品等制作	筆やそのほかの道具を使い、描きたいものを描くことができる。 構図や配色の知識を作品に活かすことができる。	構図やモチーフを工夫することができる。 持ち込み作品としてふさわしいテーマを設定し制作することができる。	時間をかけて一つの作品を制作し、完成させる。 クラスメイト同士お互いの作品を鑑賞することで、芸術創作活動の喜びを体験する。
	○作品鑑賞	色や形など、造形的な要素に注目して作品を鑑賞することができる。	作品から自分が感じた印象を言語化できる。	自分やクラスメイトの作品に興味関心を持って意欲的に鑑賞することができる。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 素描選択者 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
芸術	素描	2	高校生の美術Ⅲ(日本文教出版)

学習のねらい	<p>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p> <p>(1) 美術Ⅱで学んだ絵画表現の基本をもとに、各大学の入試に合わせたモチーフと描画材を選択して作品制作を行い、粘り強く制作する態度を身につける。</p> <p>(2) 志望する大学の過去問を中心にデッサンを行い、卓上静物や石膏を鉛筆で描写し、形態の正確な把握力、素材・質感の表現力、空間に対する意識を養う。</p> <p>(3) 与えられたテーマ、モチーフを組み合わせて想定デッサンを行う力を身につける。</p> <p>(4) 色彩構成や着彩、立体など、志望校の過去問に取り組み、実技試験の対策を行う。</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術系大学への進学を希望し、入試に実技が必要な人が選択してください。</li> <li>・制作に必要な用具は各自で用意してください。</li> <li>・素描は美術系大学への進学を目的とし、高い技術力を養うための講座です。これまでの技術力をベースに向上心を持って取り組みましょう。また、授業だけではデッサンに取り組む時間が足りません、放課後など、各自で時間を見つけて描くことが必要になります。</li> </ul>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なモチーフを、限られた時間の中でデッサンする力を身につける。</li> <li>・B3版の画用紙やケント紙、木炭紙など、あらゆる紙に対応できる技術力と描写力を養成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形、構図など、造形的な要素に注目して作品を制作、鑑賞することができる。</li> <li>・与えられたテーマ、モチーフを組み合わせて想定デッサンができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動、鑑賞活動に取り組んでいる。</li> </ul>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力 理解力	思考力 判断力 表現力	自律力 省察力 協働力

主な 評価方法	授業中の取り組み状況 制作作品 等	授業中の取り組み状況 ワークシートの記述内容 等	授業中の取り組み状況 振り返りシート 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	○鉛筆デッサン	対象の形を正確に捉えることができる。 鉛筆による明暗やタッチの表現を身に付ける。	構図を工夫することができる。 与えられたテーマ、モチーフを組み合わせて想定デッサンができる。 対象の色・質感を表現できる。	絵画表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動に取り組んでいる。
	○作品鑑賞	他者の作品を鑑賞することで、多様な表現方法があることを知り、美術に対する理解を深める。	作品を見た時に自分が何を感じ取ったのか言語化できる。 好き・嫌いからスタートし、その理由を造形的な視点から説明できる。	古今東西の絵画作品に関心を持ち、制作方法や作品の来歴、作者の生涯など作品の背景にも注目しようとしている。
後期	○持ち込み作品等制作	筆やそのほかの道具を使い、描きたいものを描くことができる。 構図や配色の知識を作品に活かすことができる。	構図やモチーフを工夫することができる。 持ち込み作品としてふさわしいテーマを設定し制作することができる。	時間をかけて一つの作品を制作し、完成させる。 クラスメイト同士お互いの作品を鑑賞することで、芸術創作活動の喜びを体験する。
	○作品鑑賞	色や形など、造形的な要素に注目して作品を鑑賞することができる。	作品から自分が感じた印象を言語化できる。	自分やクラスメイトの作品に興味関心を持って意欲的に鑑賞することができる。
備考				